

南知多町立内海中学校だより

H30年度 2月号

あけゆく空

平成31年1月18日発行

～ 言葉と笑顔が輝く学校 ～



カワセミ飛来（内中美オトープ）

1月も半ばを過ぎ、3年生は卒業式日まで50日を切りました。義務教育課程の修了まで残りわずかとなっているからこそ、仲間や先生と過ごす学校生活一日一日を、大切に過ごして欲しいと思います。今回は、行事予定の他、裏面でご協力いただきました学校評価の結果（概要）をお知らせします。

月	火	水	木	金	土	日
1 / 28 朝会	29 私立一般出願	30 個人懇談会(3年) 私立推薦入試 45分授業	31 45分授業 ALT	2 / 1 45分授業 下校時刻 17:00	2	3
4 朝会	5 私立一般入試 生徒総会	6 3年4時間授業	7 ALT	8 5時間授業	9	10
11 建国記念の日	12 学校公開日 ⑤2年進路説明会 ⑥2年立式の会	13 ワックスがけ	14 1・2年学年末テスト週間 ALT ワックスがけ	15 45分授業	16	17
18	19 45分授業	20 公立推薦出願 45分授業	21 1・2年学年末テスト 公立一般出願 学校評議委員会	22 1・2年学年末テスト 3年生お祝い給食	23	24
25 1・2年学年末テスト	26 委員会	27	28	3 / 1 3年生をおくる会⑥	2	3

「卒業文集」

卒業文集の原稿締め切りが間近となってきました。教職員にも、寄稿する頁があり、巣立っていく生徒に、どんな言葉を贈ろうかと、多くの先生が、毎年頭を悩ませています。

それ以上に、作文に時間をかけているのが生徒自身です。思い出や将来の夢などから、テーマを選び、十二月から下書きを始めています。

近年本校では、人権問題や個人情報への配慮から、下書き原稿を、担任・校長まで確認するようになってきました。生徒の下書きに目を通す中で、生徒一人一人の顔を思い浮かべながら、「○○さんらしいな。」と微笑んだり、「こんな思いを抱いて、いたの！」と驚かされることも、しばしばで、目を通し教師には、この季節の風物詩になっています。今年の三年生の作文も、強い志、温かい友情、深い感謝にあふれた内容となっています。

今年の卒業式は、三月五日。四十日余りとなった中学校生活。一日一日を大切に、義務教育を終える人生の節目、わかり合えた仲間から旅立つ日に向け、しっかりと準備をしてほしいと思っています。

*本校の卒業文集は、卒業アルバムと合本する形態をとり、購入費用は、一年生時からの積立金を充てています。

平成30年度学校評価アンケート結果～生徒主体の優しい学校をめざして～

12月～1月にかけて生徒・保護者・教員に実施した学校評価アンケートの結果を紹介します。全体としては、昨年度より評価が高くなった項目が多く、中でも「教育活動の発信」「防災教育」「地域連携」では高い評価を得ましたが、新しい学力観を踏まえた「学力・体力向上」への対応が課題となっています。今後も、ご理解を得ながら、「生徒主体の安心で楽しい学校」づくりに力を注いでいきます。変わらぬご支援をよろしく願いたします。(アンケート記述等の詳細は、後日学校HPにもアップいたします)



部活動・作品募集でも輝く！

<12/4>

人権作文コンテスト感謝状：法務省・全国人権擁護委員連合会より（右）

<1/12（土）バスケットボール1年生プレマッチ> 場所 常滑中学校

内海・豊浜・日間賀合同チームが、河和、常滑、常滑・南陵合同、青海の4チームと対戦。

<尾書研書写コンクール> *このほか、10名の入選者も表彰。

特選：山下里沙、佐々春奈、内田康介

優等：大岩留奈、萩心美、新井暖乃、大岩ひな梨、鈴木綾乃、大岩柚月、眞鍋華緒

